

会議録

件 名	令和6年度第3回市川三郷町地域公共交通会議開催について
と き	令和7年3月6日（木） 14時00分～15時32分
ところ	市川三郷町生涯学習センター2階 研修室
出席者	市川三郷町地域公共交通会議委員(18名) 事務局3名 株式会社ケー・シー・エス1名
欠席者	8名
事務局	会議の前に、山梨交通（株）鯉沢営業所の望月一朗様から、同じく鯉沢営業所支部長の高石政洋様に 変更がありましたので、ご報告させていただきます。
会長	1. 会長あいさつ お忙しい中、また数日前には雪もうっすら積もり、非常に寒い日ですが、地域公共交通会議にご出席いただきありがとうございます。本日は、地域公共交通計画について、計画の立案に向けた調査結果や骨子案の確認について行っていききたいと思います。 忌憚のない意見をいただければと思います。宜しくお願い致します。
事務局	2. 議事 (1) 地域公共交通計画策定について 前回の第2回会議で協議したアンケート調査について、12月下旬から1月中旬にかけて3つのアンケート調査を実施した。資料1の調査結果の概要について、アンケートを集計いただいている
(株) KCS	(株) KCSより報告いたします。 町民アンケート調査、中高生アンケート調査、町コミバス利用者アンケート調査の結果について報告いたします。 【町民アンケート調査】について説明（資料1のP.1～13） ・回答者は60歳以上の高齢者が半数以上。 ・年齢はランダムだが、大字毎の人口割合に応じて抽出数を割り振った。 ・免許返納意向について70歳以上で返納を考える人が増えている。 ・送迎を負担に感じている人は3割程度だが、夕方以降に負担を感じる回答が多い。 ・買い物先は町内と町外で半々だが、六郷地域ではスーパーがないため町外の割合が多い ・買い物の外出は午前10時前後に出て、午前12時か午後4時頃に帰宅する割合が多い。 ・通院先は町内と町外で半々だが、三珠地域は町外へ通院する人が多い。 ・通院に出かける時間帯は午前9時前後で午前11時～12時に帰宅する割合が多い。 ・町営コミバスについて、よく知らないという回答が6割以上あった。 ・町営バスの満足度は、本数や運行時間に関する項目が低い。 ・タクシーについては、8割以上が「ほとんど利用しない」と回答している。 ・タクシーに関する満足度は、夜間の運行について不満が高い。 ・デマンド交通について、半数近くが「利用してみたい」と回答。 ・地域協働型交通（ライドシェア）は、六郷地域では利用したいという回答が多いが、地域ドライバーについては「活動したくない」という回答が6割であった。 ・町公共交通に対する町財政負担について、「わからない」を除いた3つの回答の中では「サービスが充実するなら財政負担増加は仕方ない」という意見が最も多かった。
(次のページへ続きます)	

(株) KCS	【中高生アンケート調査】について説明（資料１のP.14） ・町内中学校の生徒と青洲高校の生徒を対象に実施 ・中学生は徒歩が多く、高校生は自転車、家族の送迎、身延線が同じくらいの割合。 ・公共交通の充実による進路選択への影響について、７割が「重視する」と回答。また、重視するポイントは「学校や職場までの鉄道やバスの運行本数の多さ」が最も多い。 ・メリットとしては、「悪天候時も快適に移動ができる」や「重い荷物があっても移動が楽」という回答が多かった。 【町営コミュニティバス利用者アンケート調査】（資料１のP.15～17） ・回答は女性が約８割、高齢者が８割だが３０～８０歳以上まで幅広い回答があった。 ・利用者の半数が「バス停から自宅まで２００m以内」の人である。 ・コミバスの利用者は８割以上が免許を持っていない（返納含む）。 ・利用には通院や買い物が多く、「週２～３日」～「月に数日」が多い。 ・コミバスの代わりになる交通手段について、半数は「手段がない」と回答。 ・コミバスの乗降前後の移動手段は、「徒歩」が多く、他の交通との乗り継ぎは少ない。 ・満足度は「自宅とバス停の距離」や「運賃設定」が高く、「日中の運行台数」「最終便の時間」について低い結果となった。 アンケート結果の説明については、以上になります。
委員	【アンケート調査結果について 質疑】 ①町民アンケートで１８歳以下の若い交通弱者の回答数が少なく、交通弱者の意見を汲み取りきれていないのではないか？ ②送迎の回答について、コミバスが通っている地域（山間地や交通不便地域）から身延線の駅までの送迎についても調査して欲しかった。 ③通勤通学について、町外へ通学する人はほぼ鉄道を利用する。そのための自宅から駅までの移動手段が必要になると思うので、その部分が汲み取れていないと感じる。 ④中高生アンケートについて、青洲高校生は町外からの割合が多く、効果がないと思う。 町内から町外へ通学する生徒で、家族の送迎で通学している人は、家族は負担になっていると思うので、若年層の交通弱者の意見がくみ取り切れていないのではと感じた。
(株) KCS	ご意見ありがとうございます。今回の町民アンケートでは若年層の意見は、なかなか拾いきれない部分はあると感じています。中高生アンケートを実施したのが、まさしく若年層の移動状況の把握をするために行いました。高校生の町内在住の生徒に絞った結果で集計してみたいと思います。また、町内から町外へ通学している人の把握については、事務局と相談して考えたいと思います。 また、駅までの移動で困っている人の集計や分析についても、事務局と相談して把握方法等を検討します。
事務局	各アンケート結果について、年齢や居住地域別での集計も可能なので、条件などを設定して細かく分析を行っていききたいと思います。
委員	大同地区に住んでいるが、地域にコミバスなどが通っていないところになる。民生委員もやっていて、今調査の回答を書いています。コミバスのない地域の意見や、民生委員の意見なども取り入れて進めていただきたい。 民生委員への意見で、鰯沢口駅の階段が厳しく高齢者には利用が難しいことや、夜間などタクシーがつかまらないこともあるので、対応を検討していただきたい。
(株) KCS	地域別の集計もできるところですが、山間地の回答数が少ないため、民生委員の皆様からの意見を分析させていただき、地域ごとの移動の困りごとを把握していききたいと思います。
会長	コミバスの認知度について、元々コミバスがないため知らない場合と、運行しているけど知らないという場合もあるので、その辺りの区別の把握はできますか？
事務局	コミバスの運行ルートの大字と、コミバスのない大字に絞って集計することは可能です。
会長	認知度について、知らない理由がわかれば利用率の改善にもつながるかもしれないので、把握できればいいと思います。

（次のページへ続きます）

会長	私の印象としてはコミバスの満足度の結果が、比較的満足度が高い項目が多いと感じた。ただ、利用者の満足度と町全体の満足度のギャップがどこにあるのか、把握できれば利用促進につなげていけたり、交通計画に反映できる部分があるかと思います。
委員	会長からのお話にあった、満足度の割に認知度が低い点について、選択肢が少なすぎるのが原因ではないか。1日2本や隔日運行、朝晩しか走っていないなど、選択肢が少ない中でも利用できる人しか使っていないからではないかと、住民視点としては感じます。
事務局	コミバスについては六郷線を除いた路線で、曜日を限定したり朝晩2本しか走っていないなど、ご指摘いただいたとおりの運行になっています。アンケート調査などで、ニーズのある運行時間などを把握し、運行時間や運行本数の改正など、交通事業者と協議し、利便性向上に向けて検討していきたいと思います。
会長	最初の質問であった若い方（学生）のコミバスの利用がほぼ0というのが、そもそもコミバスが時間的に利用できないなどがあるが、通学に利用できるように運行にしたとして、中高生に利用してもらえるかどうかを把握することが必要かと思います。
会長	つづいて計画骨子案について説明をお願いします。
(株) KCS	【地域公共交通計画骨子案】について説明（資料2）
	・第2回会議でお示しした資料に、調査結果を反映した内容（赤字で追記部分）。
	・1ページの課題（案）について①～⑤の5つにまとめた。
	①中高生の通学や町外への移動を支えるサービスの確保や、高齢者の通院・買い物を支える交通サービスが必要。
	②各山間部から市街地や鉄道駅への移動を支えるサービスの維持確保が必要。また資料2のP.3参考資料より六郷地域から市川地域への移動需要も見られるため、六郷地域から市川地域への移動手段の確保について検討が必要。
	③地域により移動ニーズに違いがあるので、ニーズに即した交通サービスの整備が必要。
	④地域協働型交通について、アンケートの中でも利用意向は高くないが、一部利用意向があり、また今後の移動サービスの一つとして、引き続き研究していくことは必要。
	⑤アンケート結果より住民のコミバスの認知度が低いという結果があり、コミバスを知ってもらい利用促進につなげる必要がある。
	・2ページに新たに「将来イメージ」を追加。
	まとめた課題を踏まえ、基本理念と目指す姿を設定しており、目指す姿を実現するためには、将来どういう交通ネットワークが必要なのかをイメージしたもの。
委員	目指す姿は前回会議で①～⑤の5つを案で示しており、それぞれの姿を実現するための公共交通網のあり方を赤字で示している。
	将来イメージについては、現時点でのイメージであり、今後交通サービスの検討に応じて適宜変更していきます。赤色の矢印は「町外交通」として鉄道による町外への移動を表している。緑色の矢印は、「地域間交通」として山間地など各地域から最寄りの駅や市街地への移動を表している。青色の矢印は「市街地交通」として市街地の中での移動をイメージしている。また、各矢印が示す交通についてどの交通モードが担っていくかという部分は、今後、交通会議の中でも皆様と協議して決めていく方針。
	【骨子案について 質疑】
	考慮していただきたい点として、まず課題の③について、バスを必要とする時間に運行されるように「運行時間の確保について」入れていただきたい。次に目指す姿の②について、山間地と市街地をつなぐ部分に「鉄道駅」も加えていただきたい。目指す姿の④について、地域活性化のため実施してもらいたい。収益性を考えるならば、例えば週末に観光施設へ運行し、町外から人を取り入れるなど。また、逆に収益性はないが、今後の小中学校の再編によるスクールバスや通学についてもあるので、町の資源の活用につなげてほしい。次に施策の①について、他の交通との結節を重視してもらいたい。
事務局	頂いた意見について、追記していきます。また、観光施設への運行や小中学校の通学などについて、各担当からも話題に出ておりますので、協議・検討をしていきたいと思います。

（次のページへ続きます）

(株) KCS 会長 事務局 会長 一同 事務局 会長 会長 一同 事務局 事務局 会長 事務局	施策の「交通の結節」については、施策③「交通サービス同士の連携強化」で乗継がしやすいよう結節点の整備やダイヤ調整などは取り組んでいきたいと考えています。 アンケートで町民の意見を把握しているが、山梨県で観光に関する調査結果を出しているので、観光分野の参考に見てみてください。 施策②でデマンドやライドシェアに関する記載があるが、アンケートでライドシェアのドライバー意向の回答が活動したくない意見が多かったが、運転時の責任など不安な部分をフォローすれば回答結果も変わってくる可能性があり、そうなれば地域で交通をいろいろやっていただくなどの手法も候補になると思うので、皆様からも意見をいただき、その地域の望ましい形を模索していきたい。 【令和7年度のスケジュール】について説明（資料3） 資料3に沿って令和7年度のスケジュールを説明。 ○交通計画について ・4～6月で交通計画の素案、7～9月で計画案を作成。10月頃にパブリックコメントを実施し、パブリックコメントの結果を反映して、11月頃に交通計画の策定を目指す。 ・策定に並行して、既存公共交通の再編検討を進めていき、令和8年度に改正もしくは新たな運行の実施に合わせて、各関係事業者との協議、交通会議での協議を行っていく。 ・計画策定2年目として、策定業務委託について引き続き「株式会社ケー・シー・エス」様に委託をする予定。 【令和7年度スケジュールについて 質疑】 （特になし） 議題1について、調査結果と本日の会議などで出た意見を踏まえて引き続き計画策定を進めていくということでしょうか？ （異議なし） （2）停留所名の変更について（資料4） 「行財政改革推進計画」の公共施設保有量の最適化により、役場庁舎機能を本庁舎に集約することになりました。それに伴う施設名称の変更により停留所名を変更いたします。 ○三珠線「三珠庁舎」→「旧三珠庁舎」（資料5） ○六郷循環線「六郷支所」→「六郷出張所」（資料6） 変更時期については、4月1日から予定している。 施設の名称変更に伴う停留所名の変更について、何か質疑ございますか？ （質疑等なし） 議題2については、事務局の提案どおり変更してよろしいか？ （異議なし） （3）その他 ・令和7年度予算（案）について（資料7） 令和7年度予算（案）について資料7を説明。なお、3月議会中であることと令和6年度決算前につき、金額等は現時点の数字として、変更される場合あり。 （質疑なし） ・事務局の所管変更について 令和7年度より役場の「防災課」が「防災交通課」に変更される。それに伴い本会議の事務局についても「政策推進課」から「防災交通課」に変更される。 議事まとめ 議題1：調査結果と様々な意見を計画に反映させ、次年度の計画策定を目指す。 議題2：停留所名の変更について、事務局提案のとおり変更。 議題3：令和7年度予算および事務局の所管変更について説明された。 3. おわりのことば 本日は長時間に渡り、それぞれの立場からのご意見やご提案をいただきありがとうございました。今回の調査結果とご意見を踏まえ、次回6月頃に交通計画素案をお示ししたいと考えております。公私共にご多忙のこととは存じますが、次回の会議開催にもご出席のほどよろしくお願い致します。 以上をもちまして第2回地域公共交通会議を終了いたします。ありがとうございました。
---	---